

なないろ



川口市立戸塚中学校

46期2学年通信 No.55

令和6年11月7日(木)

こんにちは。2年4組担任の高麗です。君たちと出会ったあの日から7か月が過ぎたのですね。一瞬のように感じます。この時期は、部活動だけでなく生徒会役員や後期の係・委員会、実行委員会、三送会の有志などで学校全体を引っ張る時期、そして休み時間に各クラスから響く歌声が素敵で素晴らしい時期ですね。みなさんはどんな決意・どんな感謝を持って今後生活していくのでしょうか。先生たちはみなさんの活躍を非常に楽しみにしています。そんな時期にみなさんと一緒に考えたいことが1つ。「フォロワーとは何なのか」です。みなさんは「フォロワー」とはなんだと思いますか？誰かに任せておけばいいのかな？誰かについていだけでいいのかな？言われて動けばいいのかな？私の好きなお話を下に書きますので、ぜひ「フォロワー」に目を向けてみてください。

ある朝、洗面所で顔を洗っているときのお話です。歯磨きをしている右手がふと横を見ると左手がガラァーっと寝ぼけて動いていません。
「あれっ、僕はこんなに動いているのに」 シュクシュクシャカシャカ
右手は、左手のことが気になりました。

学校へ行くと授業が始まり、黒板の字を写し始めたその時です。鉛筆を握った右手がふと横を見ると、左手は机の上にあるだけで何も動いていません。
「僕は、一生懸命黒板の字を写しているのに…」右手はちょっとぼやきました。
給食の時間、横を見ると左手はお茶碗を握っています。右手は少し安心しました。しかし、よく見るとやっぱり、左手は動いていません。右手はつぶやきました。
「動いているのは僕だけ……。これは不公平だ。」
ところがある日、左手はヤケドをしてしばらく動けなくなりました。
朝起きて、顔を洗おうとした時です。右手だけでは水がすぐえません。チューブから歯磨き粉を出すのも一苦労。勉強の時間にも困りました。黒板の字を写そうとしてもノートが動いて字が書けません。給食の時間も、お風呂で頭を洗う時なんて……。
「左手は僕を支えてくれていたんだ。」右手は左手に済まないと言いました。

↑これを読んだ高麗先生の考え↓

大切なことは「思いやり」「協力」だ。と聞きますが、何をすべきなのでしょう。クラスにも「何で自分ばかりやらなくてはいけないの」「何もしてない人もいるのに」と思っている人もいるかもしれません。また、逆に「あの人のようには活躍できない」「自分は何の役にも立たない」と思っている人もいるかもしれません。

集団には、いろいろな役目をする人が必要です。表で派手に活躍する人(右手)もいれば裏でそっと支える人(左手)もいるでしょう。その役目は時によって交代します。だからこそ、右手は左手のことを、左手は右手のことを忘れてはいけません。

↑これらを読んだあなたの考え↓(フォロワーってなんだろう)

合唱祭はもちろん、日々の学校生活で絶対に必要なのが“協力”すること。言葉で言うのは簡単だよね。46期全員の“協力”した姿がみれる日を楽しみにしています。

右手 VS 左手 はもうやめよう。

右手 ♥ 左手 で行こう。

